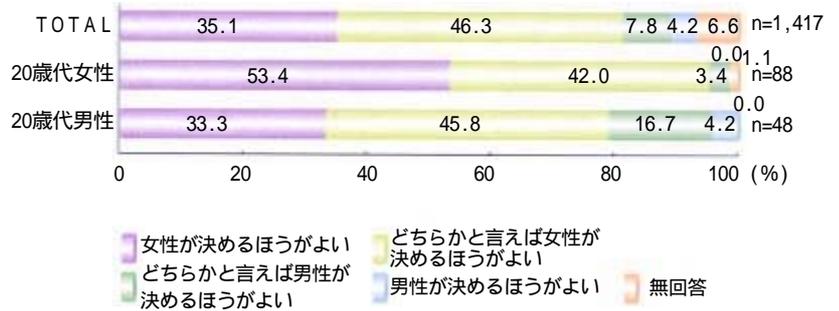


子どもを産むかどうかの決定権について、20歳代の男女で考え方が違う

性と生殖に関する女性の健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関わる、子どもを産むかどうかの決定権について、特に20歳代の男女に考え方の違いが見られました。「どちらかと言えば」を合わせると女性は9割以上が「女性が決めるほうがよい」と考えていますが、2割の男性は「男性が決めるほうがよい」と考えています。

= 子どもを産むかどうかの決定権 =



7 政策の企画・方針決定に関する意識

「男性優位の組織運営」や「積極的な行動が少ないこと」が女性参画の少ない理由

政策の企画・方針決定の場に女性の参画が少ない理由として、「男性優位の組織運営」(54.8%)をあげる人が半数を超えています。また、「女性の参画を積極的に進めようと意識する人が少ない」(44.7%)、「女性側の積極性が十分でない」(44.1%)などの積極的な行動が少ないことを要因と考える割合も高くなっています。

= 政策の企画・方針決定の場に女性参画が少ない理由 (MA) =

